

今注目の「第3のミルク」

飲むお米「ライスミルク」

栃木商業高校

同校で初めての商品開発

「ライスミルク」というものをご存知でしょうか？「ライス」の名前のとおり、お米を原料にしたミルクです。牛乳、豆乳に続く「第3のミルク」のひとつとされ、乳製品にアレルギーのある人でも飲むことができます。ミルクのひとつとして、今、市場で注目されています。

このほど、栃木商業高校の商業科の生徒の皆さんが、このライスミルクを「飲むお米」「ライスミルク」として商品化しました。これは、同校の3年生が自由にテーマを決めて研究する「課題研究」によるもので、市内の食品会社の協力のもと、2月から企



試飲会を行って感想を聞きます



「商吉」がデザインされた瓶



アンケートを取り、味の改良に生かしました

画・開発を進めてきました。同校での商品開発はこれが初めてです。

4月から、コエド市場や、同校の恒例行事である栃商デパートを初めて校外で行った「栃商デパート IN TOBU」などで、一般向けの試飲会を行い、そのアンケートなどをもとに、納得できる味になるまで、さらなる改良を加えてきました。

完成したライスミルク、プレーン味はコメとてんさい糖だけを原料に作られており、ほんのり甘みのある味です。9月21日にはコエド市場店頭にて、また11月3日には、同校の恒例行事栃商デパートにて、生徒自らの手により販売されました。



9月21日、コエド市場での店頭販売

廃棄物も素材に取り入れた庭園づくり

「栃木市役所屋上庭園」

栃木農業高校

小さな庭園に「栃木市」を表現

高校生が手掛けた庭園が市役所に整備されました。手がけたのは、栃木農業高校の農業土木科の生徒の皆さんです。

百貨店の空き店舗を活用した建物である市役所の本庁舎の4階には、百貨店のギャラリースペースであった屋上庭園が残されていました。この庭園が、今回、農業土木科の生徒の皆さんの手により、大きく改修されました。リニューアールした庭園は、市内を流れる巴波川や、太平山、渡良瀬遊水地などが、同校で育てたり採取したりした草木や石、玉砂利などで表現



瓦など廃棄物が効果的に使われています



玉砂利を敷き詰めています



完成した庭園

されています。また、生徒自らが制作した、市の鳥カマヤ市のマスコットキャラクターとちぎのモルタルオブジェをあしらったり、同科で取り組んでいる廃棄物を素材としたものづくりの一环として、廃瓦を素材やデザインに取り込んだりしながら、蔵の街らしい風情のある庭園を造り上げました。

完成以後も、同校生徒の手により、季節ごとに植栽などの手入れなどが行われ、来庁者の目を楽ませています。



7月にはヤマモミジを植栽しました

栃木市と高校との取り組み

栃木農業高等学校と

包括連携協定を締結しました。

7月28日、栃木農業高校と栃木市とで、包括連携協定書を取り交わしました。これまでも連携を行ってきた農業分野に加え、まちづくりや地域活性化など幅広い分野で、高校生の皆さんと連携していきます。



包括連携協定 締結式

栃木市アンテナショップ

まちの駅「コエド市場」

市内とちぎ蔵の街大通りに面する市のアンテナショップ、まちの駅「コエド市場」では、同店舗内のフリースペース「わいわい工房」が、今号で紹介した「SkyBerryJAM」の製作教室や「ライスミルク」の試飲会場として活用されているほか、「SkyBerryJAM」の組み立てキットや、栃木農業高校で開発された酵母で醸造された「おおひら巨峰ワイン」などが販売されています。



まちの駅「コエド市場」

サイエンススクールin栃工 in栃農

市では毎年、栃木工業高校や栃木農業高校の生徒の皆さんや先生を講師に迎え、子どもたちを対象としたサイエンススクールを実施しています。最新の開催情報などは、随時市ホームページや、市内の各小学校に配布のチラシで随時ご案内します。奮ってご参加ください！



サイエンススクールin栃工